

JHL レフェリー評価における着眼点 (2020 年版 : 朱書きは重要ポイント)

項	目	着 眼 点
(1) ゲーム管理	レフェリーとしての要素・全体的印象	試合に関する的確な態度であるか。 正しい判断基準に基づいた的確な競技規則の運用ができていますか。
	振る舞い・ 選手・役員とのコミュニケーション	不自然な、不安定な態度ではないか。集中力を欠いているような仕草が見えないか。 チーム役員・プレーヤー・オフィシャルに対し、基準を明確に伝えるようボディランゲージや口頭による説明ができていますか。 ベンチ管理(交代プレーヤー・チーム役員)。
	チームとの関係・平等であるか	試合に関する感情。 おだやかで 公平な態度であるか。一方のチーム役員やプレーヤーと接触していないか。弁解や妥協しがちではないか。ヤジとか批判に簡単に影響されていないか。
(2) 連 携	チームワーク(オフィシャルを含めて)	誰が見ても分かるように 、パートナー・オフィシャルとの協力ができているか。
	ペアで均一な判定	1人のレフェリーが支配したり、されたりしていないか。
	領域分担	パートナーの責任範囲を侵していないか(特に ゴールエリアライン際)。侵していることに気づいているか。
(3) ゲームの理解	レベル・ カテゴリー に応じた基準	プレーヤーの発達段階を考慮し 、ゲームの流れを理解しているか。ゲームの流れに反した判定をしていないか。
	アドバンテージ・ 不必要な笛 発展性のないプレーの見極め 笛のタイミング	明らかな得点チャンスでのアドバンテージを見ているか。アドバンテージ後の罰則を与えているか。ルール違反のアドバンテージを与えていないか。 不要な笛でプレーを止めていないか。 発展性のないプレーの見極めと、特に 攻防が切りかわる笛のタイミング は適切か。
(4) 1対1の局面	罰 則 8:4にある即座に2分間退場への準備	許容範囲のタフなプレーとアンフェアなプレーの区別ができていますか。ルール8(違反・スポーツマンシップに反する行為)に一致しない罰則を与えていないか。
	チームに基準が理解されているか	罰則が良いバランスで判定されているか。
	ハリウッドアクションの見極め	ハリウッドアクションを見抜き、 予防的な処置を含めた 、適切な処置ができていますか。
(5) 攻撃側の違反	ボールを持ったプレーヤーの違反	違反を見逃していないか、探していないか。正しい防御活動を認めているか。また、 明確なボディランゲージでプレーヤーへ基準を知らせているか。
	ボールを持たないプレーヤーの違反	
	正しいブロック/不正なブロック	
(6) 7m スロー	明らかな得点チャンス の見極め	防御側プレーヤーとの位置関係から、明らかな得点チャンスを見極め 、適切に7m スローを与えているか。明らかな得点チャンスではないのにもかかわらず7m スローを与えていないか。
	ゴールエリアへの侵入と影響 の見極め	
	ボールを所持していない明らかなチャンス	
(7) 違 反	ステップ・ダブルドリブル・オーバータイム・ 明らかな着地シュート	正しく判定しているか。 明らかな得点チャンスを妨害され着地してシュートした場合は、7mスローに戻しているか。
	足を使った違反	
	フリースロー・ スローオフ など	各種スローが正しく実施されているか。3mの距離を観察できているか。修正後の処置は適切か。
(8) 時間の管理	パッシブプレー予告合図のタイミング	判断基準に則り 、予告合図のタイミングは適切か。
	パッシブプレーの判定	違反の判定のタイミングは適切か。
	的確なタイムアウト・不要な中断をしない	ルールに則って両チームに平等に与えているか。与え過ぎていないか。遅過ぎないか。
(9) 動 き 位 置 取 り ジェスチャー	動きと位置取り・ 笛をどこで吹くか	2人の死角はないか(プレーヤー・ボールから目を離していないか)。サイドチェンジは適切か。
	明確なジェスチャー・笛の音	ルールブックにないジェスチャー、はっきりしないジェスチャーを用いていないか。最初に方向指示をしているか。笛の音は適切か(弱すぎる・大きすぎる・挑発的など)。
	体力・走力	レフェリングをするにあたり十分な体力・走力を有しているか。